

水上の救難・環境防災にかかる自国の課題解決 日本の経験を活かす

9月26日より国際協力機構（JICA）横浜センターが実施している研修プログラムに、12か国17名の海上保安・救難分野の職員が参加しています。本研修を通じ、参加各国の国際人的ネットワークが強化され、『自由で開かれたインド太平洋（FOIP）』の下、地域の平和と安定に貢献することが期待されています。

JICAは海上保安庁と連携し、各国の水難救助、海上防災、海洋・湖水・河川の環境保全を担う機関の実務者を対象に、海難の救助、水上で発生する事故・自然災害への対応、油防除を始め汚染水域からの水鳥救護など、環境保全に関する知識・技能を習得し、さらに日本人講師と研修員が各国の知見を互いに共有し、課題解決を目指す場を提供しています。

是非この機会に取材・報道をご検討ください。取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。また、研修期間中は英語への逐次通訳が同行しておりますので、研修員への個別インタビューも可能です。

<研修概要>

研修コース名：2023年度課題別研修 「救難・環境防災」

研修期間：2023年9月26日～11月2日

研修参加者：17名（水難救助、海上防災、海洋・湖水・河川環境保安分野職員）

研修参加国：インドネシア、サモア、ジブチ、ジャマイカ、フィリピン、ベトナム、マーシャル、マレーシア、モリシャス、モザンビーク、モルディブ、モンゴル

<今後の主な研修訪問予定先>

一般財団法人海上災害防止センター（10/16-20）

海上保安庁横浜海上防災基地（10/23）

水鳥救護研修センター（10/25）

海上保安庁海上保安試験研究センター（10/25-26）

【本件に関する問い合わせ先】	
JICA 横浜 研修業務課 担当：片山 TEL:045-663-3221 FAX:045-663-3265 MOB:080-7138-5490 e-mail: Katayama.Motoko@jica.go.jp	JICA 横浜ウェブサイト https://www.jica.go.jp/yokohama/